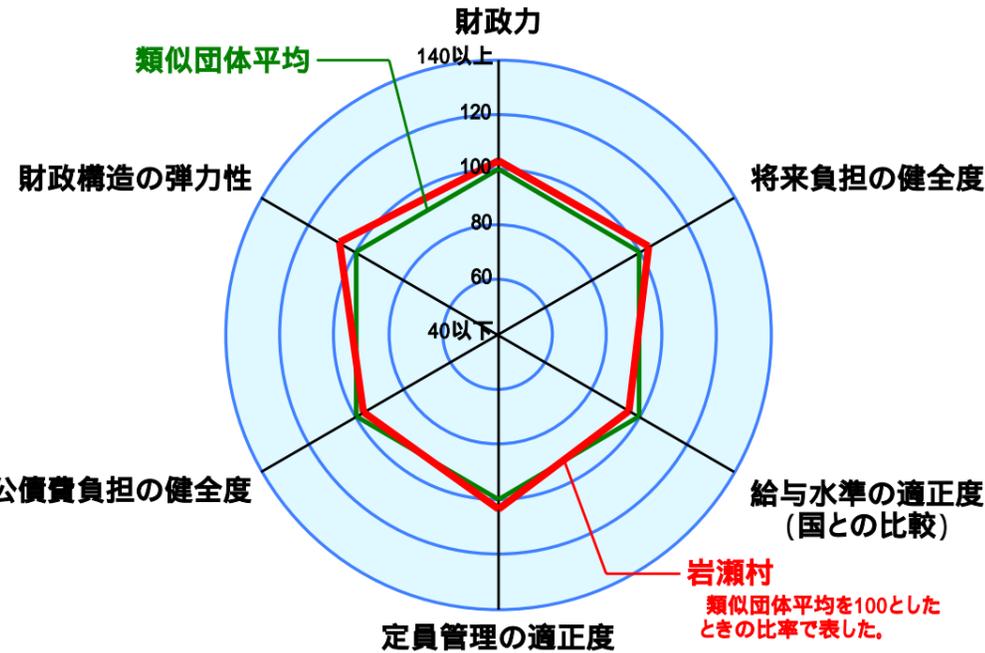
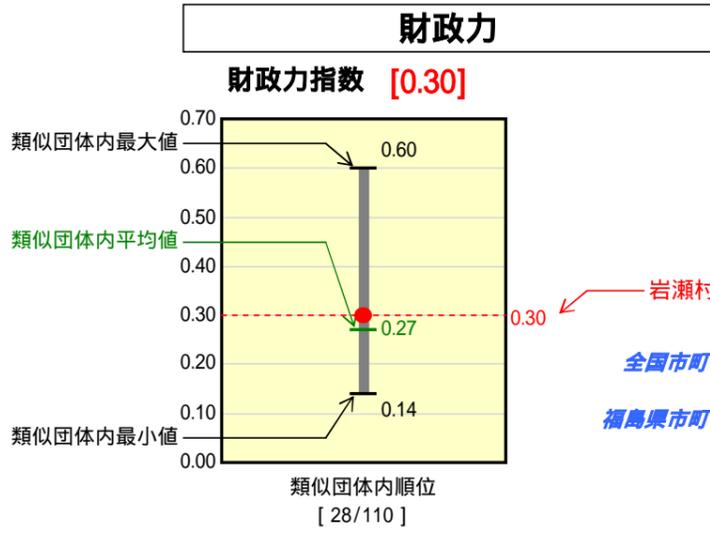


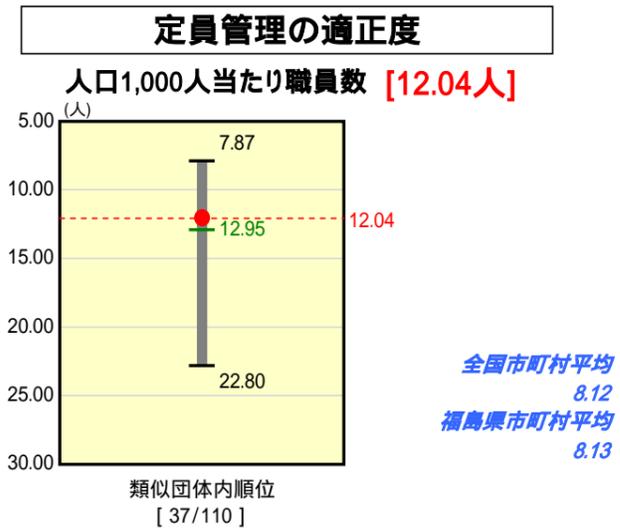
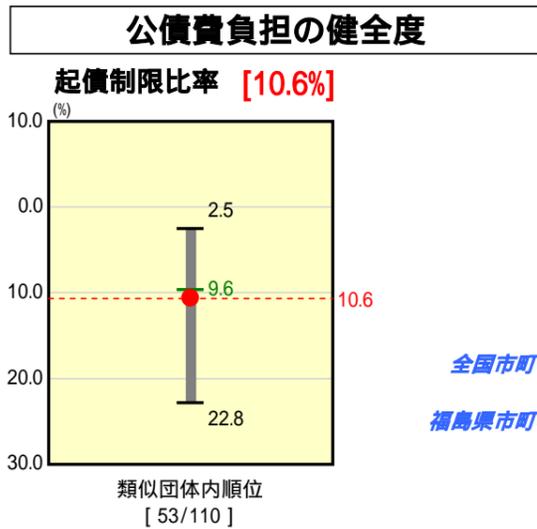
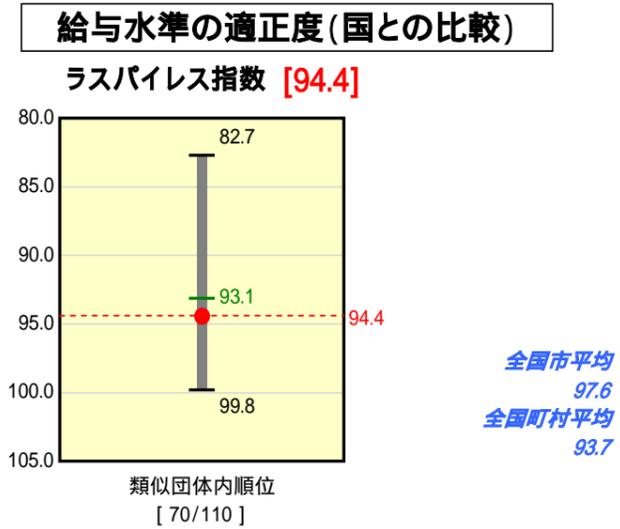
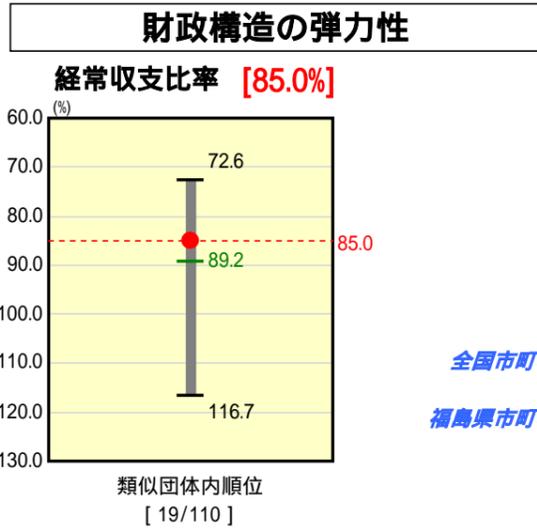
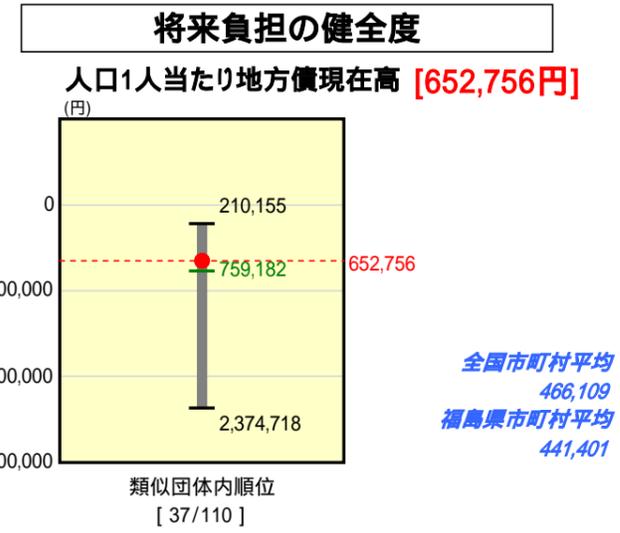
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 岩瀬村

人口	6,146人(H17.3.31現在)
面積	64.23 km ²
歳入総額	2,844,658千円
歳出総額	2,826,869千円
実質収支	17,789千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



分析欄

財政力指数：ここ3年においては、若干ではあるが連続して伸びており、0.30となっている。これは、類似団体平均値を0.03ポイント上回る結果となった。今後は、合併後の新市において、さらなる自主財源の確保と歳出の抑制に努め、財政基盤の強化を図る。

経常収支比率：類似団体平均を4.2ポイント下回り85.0%となったが、年々上昇の傾向にある。今年度は平成17年4月合併といった特殊要件により、地方譲与税の一部が未収金となったこと等から経常一般財源が減額となっている反面、扶助費等の増による経常経費充当一般財源が増額となったことから、経常収支比率を押し上げる結果となった。今後は、合併後の新市において、経常経費の削減に努め指標の改善を図る。

ラスパイレス指数：行財政改革に基づき、給与の適正化に努め、平成12年度95.7から1.3ポイント引き下げたが、類似団体平均93.1を上回る94.4であった。今後は新市において、給与の適正化に努め指標の改善を図る。

起債制限比率：中学校改築事業等の普通建設事業の実施により地方債の発行が多額であったことから、類似団体平均を上回る10.6%となっている。今後は、合併により新市において地方債発行を抑制し、指標低下に努める。

人口1人当たり地方債現在高：類似団体平均を下回る652,756円といった結果となったが、全国市町村平均を上回る結果であるため、今後、新市において地方債発行の抑制を図り、現在高の軽減に努める。

人口1,000人当たり職員数：総務省通知による定員適正化計画に基づき、平成12年度から平成16年度までの5年間で職員数4名削減を目標とし、組織機構の改革と事務事業の見直しを行い、5名の削減に努めた。今後も新市において定員の適正化を図る。